

令和3年度施策評価の概要（平成28年度～令和2年度の実績）

長与町では、平成28年度から令和2年度の5年間を計画期間とする、『長与町第9次総合計画』を定め、将来ビジョンとして「機能的で魅力と活気にあふれたまち」、「安心してずっと住めるまち」、「子どもを育てたくなるまち」の3つを設定し、具体的な施策・事業を推進しています。

令和2年度はこの第9次総合計画の最終年度にあたり、計画に謳われた6つの政策目標を具現化するための42の施策及び計画に設定した88（うち、2つの指標は重複）の数値目標の進捗状況に関する評価を行いました。

1. 評価の実施について

（1）評価対象事業

第9次総合計画に定める42の施策と133の施策内事業（具体的な取組）及び88の数値目標

（2）評価の方法

<1. 施策評価及び施策内事業評価>

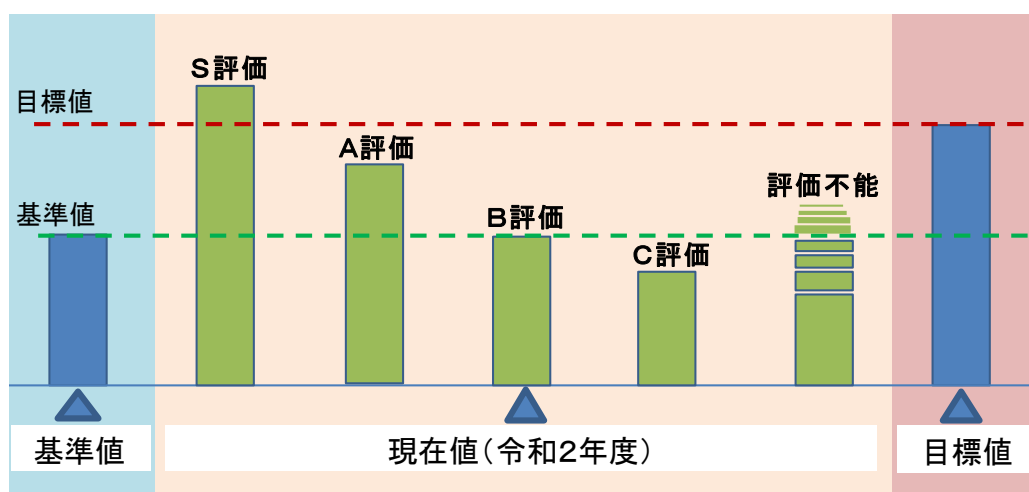
はじめに、所管課ごとに施策を構成する施策内事業の評価を、A（計画通り）・B（概ね計画通り）・C（やや遅れている）・D（遅れている）の4段階で行い、これらに数値目標の達成度などを総合的に勘案して、施策全体の最終的な評価をA～Dにより決定しました。

なお、施策や施策内事業の所管が複数課にまたがる場合は、それぞれの課で評価を行ったものを、政策企画課が取りまとめて1つの評価として決定することとしております。

<2. 数値目標評価>

掲げる数値目標の進捗状況を機械的に判定することを目的に、S（令和2年度の現在値が、目標値を超えている）・A（令和2年度の現在値が、基準値を超えている）・B（令和2年度の現在値が、基準値と同水準である（△10%以内））・C（令和2年度の現在値が、基準値より下落している）・－（令和2年度の現在値が、把握できない等の理由により評価できない）の5段階で評価を行いました。

なおここで言う「基準値」とは、第9次総合計画を策定する時点で進捗を管理するために根拠とした数値であり、「目標値」とは、総合計画の期間内で達成することを目的に設定した数値を言います。

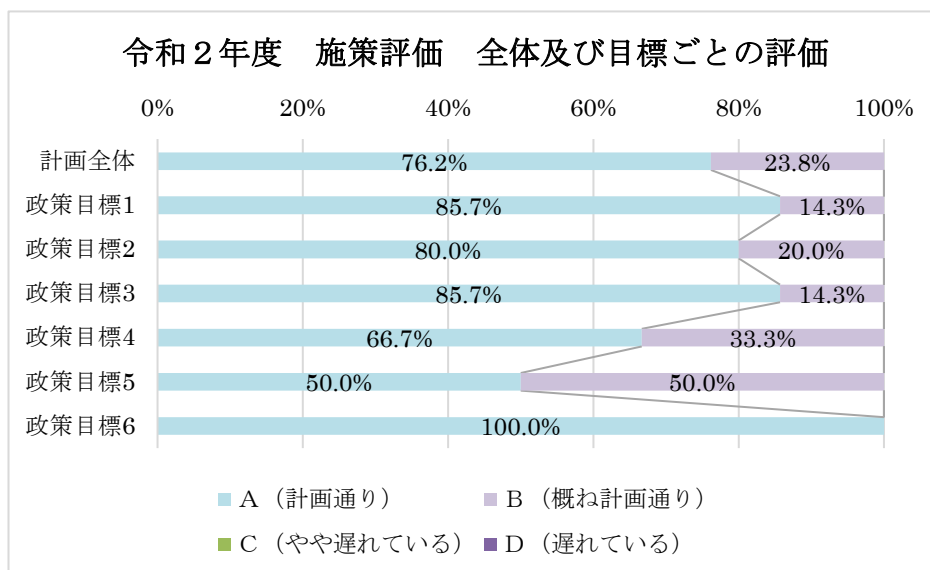
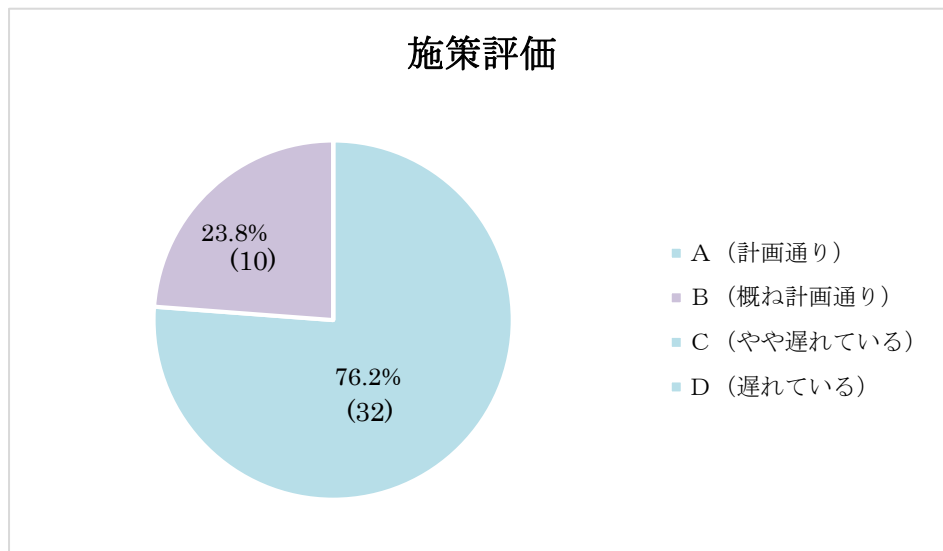


2. 評価結果について

(1) 施策評価

42の施策評価については、32件（全体の76.2%）が計画通り、10件（全体の23.8%）が概ね計画通りとなっており、全ての施策において、計画通り・概ね計画通りに進行しているという結果でした。（下記円グラフ参照）

なお、前年度に引き続き、評価にあたっては、事務事業評価に合わせて所管課へのヒアリングを実施することで、庁内の統一的な観点から評価を行うように留意しました。



第9次総合計画 政策目標

政策目標1. 信頼から始まる参画と協働

政策目標2. 心を育む教育と文化

政策目標3. 創造性と活力あふれる産業

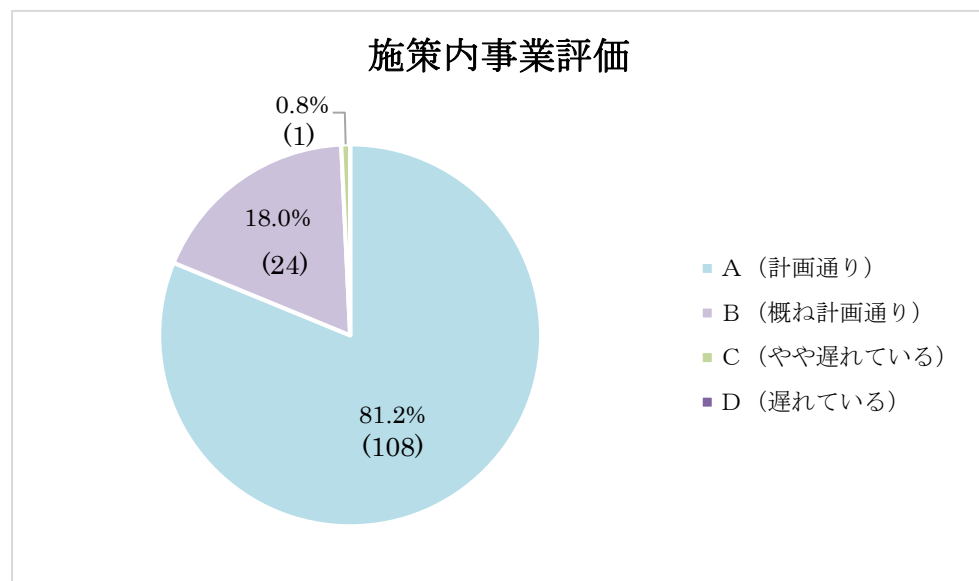
政策目標4. 安全・快適・便利な暮らし

政策目標5. ふれあいと希望に満ちた安心のまち

政策目標6. 自然豊かな美しい環境のまち

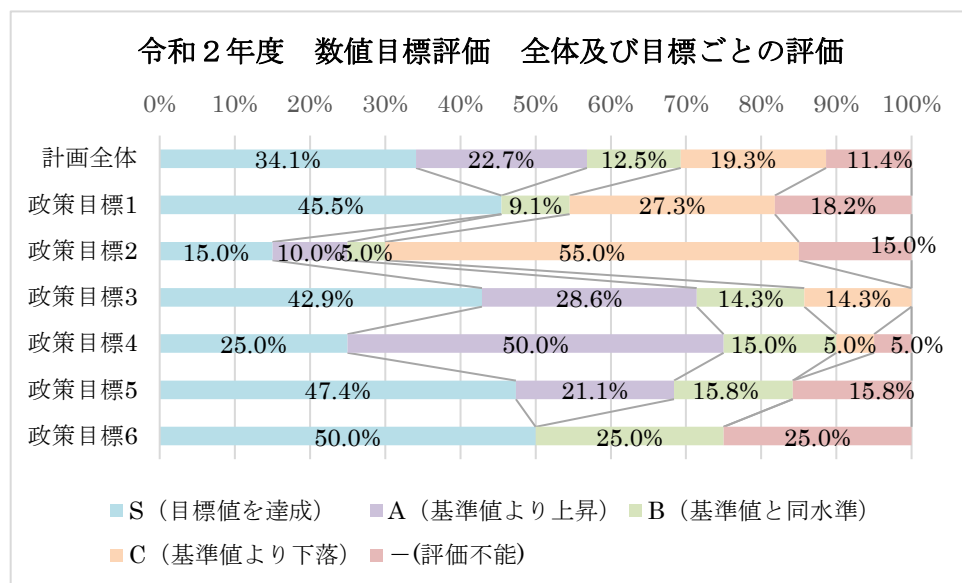
（２）施策内事業評価

施策内事業評価の 133 の項目のうち、全体の81.2%に及ぶ 108 の項目が「計画通り」、全体の18%、24の項目が「概ね計画通り」となっており、これらを合わせると、全体の99.2%にあたる 132 の項目で、「計画通り」または「概ね計画通り」という結果でした。



（３）数値目標評価

数値目標として設定された 88 の指標のうち、令和 2 年度に目標値を達成できた指標は 30 （全体の 34.1%）、令和 2 年度の数値が基準値より上昇していた指標が 20 （全体の22.7%）となっており、これらを合わせると 50 の指標（全体の56.8%）が基準値よりも上昇しているという結果でした。



なお、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や3密回避などの感染対策により、不特定多数の方が集まるイベントがやむを得ず開催中止・縮小となったほか、文化・スポーツ施設の利用者が減少するなど「基準値より下落」または「評価不能」となった数値目標が増加しました。

※割合は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても 100 % とならないことがあります。